

名教スタッフ版

よめよめグラフィック

名前

手島 和男

★読んだ本について書いてみよう。

ひ	つ
日	付
1	11
日	月

ペー	すう
ジ	数
1	9
ペー	ジ
ジ	1

①本の題名

大人のための新しい教科書シリーズ 「おとなの楽習」 2 「日本史のおさらい」

②本の作者

自由国民社

③私のおすすめの本を、紹介します。

「なんで中学生のときにちゃんと学ばなかったんだろ」として

この本の初めにこんな言葉が載っています。正直、ドキ

ッと思いました。私以外にもこう思っている大人は少なく

ないと思います。この本は、そんな大人に、もう一度学校の

教科書を読み直してみてください、学生の時とは違う見方、

考え方で見てみると新しい発見がありますよ、と教えてく

れています。シリーズの中から、今回は「日本史のおさらい

い」という本を読みました。

この本は小中学校の教科書を読んできた人を対象に書か

れているので、歴史上の出来事をただ記述するのではなく、

そこにはこんな理由があった、教科書には載っていないけ

ど、こんな見方もできるよ、といったことが書いてありま

す。本の内容を少し紹介します。

「黒船来航」について、「日本史のおさらい」にはこう書

いてあります。

『なぜペリーは日本に来たのか？ 日本の開国』（略）

19世紀になってから、外国がたびたび日本に接近を迫っ

てきたのはなぜでしょう。西洋諸国によるアジア侵略の一

環？貿易目的？どちらも正解ではありませんが、実はそもそ

もの原因は捕鯨の流行にあったといわれています。クジラ

は鯨油としてランプの燃料用に重宝されたほか、骨はコル

そのクジラが日本近海で獲れるということで、アメリカをはじめ諸外国は捕鯨船の燃料補給地として日本への寄港を考えていたようです。」

ペリーはクジラを追いかけて日本に来ました。150年

たった今は、日本の捕鯨が世界から非難を受けていま

す。150年の間に世界はまったく違ってきたのだという

ことが分かると黒船とペリーがリアルに感じられま

す。

「昔のことをただ覚えるだけ」の歴史は面白くない

です。なぜそうなったのか、どんな人物だったのか、

その出来事は今とどんなつながりがあるのか、といっ

たことに目が向いていくと面白くなっています。歴

史好きの人は自然にそういうことやっているのではし

ょう。

この本は歴史をちょっと面白くしてくれる本です。

大人はもちろんですが、今まさに勉強中の小中学生に

是非読んでほしいです。

ぜひ、読んでみてください。